

## 1. 目的

お客様の史跡訪問の目的を確認し、その目的に沿った史跡選択、コース設定、説明内容とする。併せて、当会の設立目的である以下の対応を行う。

### (1) 市外からのお客様

観光ガイドとしての役目を果たして楽しい時間を過ごして頂く。同時に歴史を通じて流山市の良いところをPRし、流山市の理解を深めて頂く。

### (2) 市内のお客様

流山市の歴史の一端を紹介することで、自分たちの住む場所に興味を持って頂き、郷土愛を持つ市民を増やす。

### (3) 市内の小学生、中学生、高校生

理解できるレベルに合わせた説明を行い、流山市の歴史や良いところ知ってもらおう。彼ら、彼女らは将来の流山市を担う者たちである。

## 2. 時間

### (1) 集合時刻

お客様と集合場所と時刻を決めて、ガイドはその時刻より30分前には集合する。お客様が予定時刻より早く到着することも多く、お迎えするという気持ちをお客様に伝えるため。

### (2) 解散時刻

昼食予約やその後の予定が決まっているケースが多いので、説明時間配分やコース設定を柔軟に行い、時間厳守する。

### (3) 長時間ガイドの場合は、最初にトイレ場所を説明する。

## 3. 説明

### (1) 事前準備

案内箇所とコースが事前にわかっている場合は、事前学習で説明内容をまとめておく。

### (2) 簡潔説明

要点を絞って簡潔に5分以内に収まるように説明する。また、説明内容は一般的なものでなく、流山市に関係した部分を中心に行う。

### (3) 説明方法

お客様に聞こえる大きな声で、お客様の正面に立ち、お客様の反応を確かめながら、質問や手ぶりを交えて飽きさせないように説明する。

## 4. 態度

### (1) ガイドには流山市の常識ある知識人としての振る舞いが要求される。

だらしない服装やガイド中の私語は禁止である。

### (2) お客様に聞いて頂くのであって、教えてあげるという態度は厳禁である。

### (3) 地元住民と良い関係になる

挨拶の励行、住宅近くでは大声は出さない、法事など実施中は邪魔にならないようにする。

## 5. 安全・安心

- (1) 交通安全：狭い道が多く車には十分に注意する。交通ルールを厳守し、列も長くさせない。
- (2) 病気：お客様の行動に注意し、具合の悪いお客様の早期発見と対処の迅速化を図る。
- (3) 自然災害：自然災害が予知される場合は、お客様と相談して早めに中止、延期を決める。  
地震：ブロック塀、墓石、鳥居などの危険物から離れる。  
雷：中止することをお客様と協議する。大木の根元付近、グラウンドなどからは避難する。
- (4) 保険：これについては別資料「ボランティア保険について」を参照。

## 6. ガイドとしての成長

### (1) お客様を知る

ガイドする団体のお客様（会社、自治体、大学、親睦会等）について、事前に調査しておくことと流山市との繋がりがわかり、説明がしやすくなる。お客様側の自慢したい事象もさりげなく話すことで、親密感が醸成される。

### (2) 流山市の史跡発見

ガイド時に疑問に思ったことを自ら調べることで、新たな史跡発見の糸口にすることや、今までの解釈に誤りがあることを発見するなど、ガイドの会の知識と自分の知識を増やせる。

## 7. 法律の遵守

流山史跡ガイドの会は特定非営利活動団体（NPO）です。

NPO 活動では特定非営利活動促進法（NPO 法）を遵守した活動が要求されます。

## 8. 関連団体

- (1) 流山市役所 経済振興部 流山本町・利根運河ツーリズム推進課 （課長：山口行彦）
- (2) 流山市観光協会（会長：志賀進一）
- (3) 流山おおたかの森駅前観光情報センター  
（業務委託者：NPO法人グローバル流山（理事長：梶川裕見））
- (4) 一茶双樹記念館  
（業務委託者：（株）流山ツーリズムデザイン 代表取締役：吉河智彦）
- (5) 利根運河交流館  
（業務委託者：NPO法人コミュネット流山 館長：山本晴士）
- (6) 流山市白みりんミュージアム  
（指定管理者：（株）流山ツーリズムデザイン 館長：川浦智子）
- (7) 流山市立博物館友の会（会長兼事務局長：新保國弘）
- (8) 流山商工会議所（会頭：田口佳子）
- (9) 新川まちづくり協議会（副会長：狼正久）
- (10) 千葉県観光ボランティアガイド協議会  
下部組織：ベイ・東葛エリア観光ボランティアガイド交流会

## 9. 流山市の観光ガイド団体

- (1) 新選組流山隊（隊長：松下英治）
- (2) 流山SGGクラブ（外国人向けボランティアガイド）（事務局長：當麻多才治）

以上